

研究課題番号	4-2003
研究課題名	植物相の定量的解析による世界自然遺産候補地西表島の管理基盤情報の確立
研究実施期間	2020 年度～2022 年度
研究機関名	琉球大学
研究代表者名	内貴 章世

1. 委員の指摘及び提言概要

世界自然遺産地域の西表島の植物相について、全島を網羅的・定量的に調べて、基盤データを整備したことは高く評価できる。素晴らしい力作であり、基礎データとしても長期的に使われるデータと思われる。保全上、長期モニタリングは不可欠であるし、モニタリングは環境行政の基礎資料として重要であるので、植物種の網羅的・定量的分布を詳細に調査する方法を開発した点は評価できる。これを基礎に保全計画、とくにエコツーリズムのあり方などに拡張されることを期待したい。今後、最新の多様な統計手法を駆使して、分析の成果をさらに高めていただけるとよいと思う。引き続き関係機関に適切な助言をされることを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：S